



日置っ子



令和6年5月24日発行

地域は子どもたちの先生！！

「環境の日」に、ボランティアの地域の方や保護者の方が来校され、子どもたちと一緒に環境整備に汗を流してくださいました。草刈りをしていただいたおかげで、美しい運動場になりました。



また、田植え間近の学習田のあぜ道も草が生い茂っていましたが、地域の方々が作業をしてくださいました。

早速子どもたちから、「あっという間に運動場がきれいになったよ。」「田んぼの草がなくなっていたよ。」という声が聞こえてきました。

地域の皆さんは、大切な大切な「日置小の子どもたちの先生」です。地域の皆さんの姿を目の当たりにしたり、伝え聞いたりすることで、心のつながりを感じています。

6年生が、国語の学習の一貫で、環境の日にお越しの環境ボランティアの方にインタビューをしました。インタビューの内容を少し紹介します。

○環境の日に参加してくださる理由を教えてください。

→子どもたちが安全に楽しく活動できるようにと思っています。

○活動してうれしいときは何ですか。

→きれいになって皆が楽しく遊んでいるときです。

○どんな思いで環境の日の仕事をしているのか教えてください

→地域の人も子どもたちも気持ちよく使えるためにです。

○日置小のよいところはなんですか。

→優しい子がいっぱいいるところ

→皆元気に外で遊んでいるところ

→人数が少ないから物事を皆で協力してできること

→1～6年生全員が、仲がよいところ

→元気なあいさつ

→校歌の歌詞

インタビューしている6年生も、ボランティアの方も笑顔でいっぱいでした。地域の方の思いをたくさん知ることができた時間だったと思います。そして、日置小学校のことを褒めてくださったことで、自信が付き、力になったようです。ご協力いただき、ありがとうございました。



これからも、子どもたちの先生である地域の皆様とつながりながら、教育活動を進めていきます。

